

## あかめしじゅうはちたき こおちだにおちあい 赤目四十八滝から山越えで香落溪落合へ

7月30日(土)、近鉄赤目口駅前 10:05 発のバスで、赤目溪谷に。入山料 500 円を払って 10:30 歩き出す。

うっそうと茂る樹林、大きな岩や切り立った崖など変化に富む溪谷、その中で清流が水量豊かに流れ、大小の滝が音をたてて落ちている。

### 断崖にイワタバコ、清流にウグイ

その滝川にそって遊歩道が設けられている。足元に可愛いピンクのハグロソウ。ウバユリがスックと立ち、5輪もの花をつけている。だが、圧巻は連綿とつづく岩壁とそこに張り付いているイワタバコ。今が花の最盛期。

### 白花のイワタバコも

11:00 八畳岩を通過。溪流をながめながら昼食を摂り、やがて琵琶滝に。子どもたちが浅瀬



↑琵琶滝

で小魚を追って水遊びに興じている。コロナ禍での酷暑の毎日、子どもたちの嬉々とした声が溪谷に響いている。

花を楽しみながら歩くと、白花のイワタバコが。イワタバコは二上山にも金剛山にも群落があるが、白花は初めて。

### ハイキングコースから出合へ

遊歩道は、いくつもの滝を階段で高巻きし、小橋で流れを渡り、溪流を縫うように高



↑イワタバコ

度を上げていく。13:00 ハイキングコースの最終地点に。ここからは一人旅。川沿いの道を歩いて 13:40 出合に到着。

### 「熊出没・注意」と看板が

ここには奈良県曾爾村今井と三重県名張市赤目口とを結ぶ「今井林道」が走っており、かつては茶店もあったが、今は閉じられている。そして道路脇の道標には「熊出没注意」の看板が張り付けられていた。

### 小管峠を越えて落合へ

出合から今井方面に歩くと、まもなく落合への分岐があり、ここにも「熊出没・・・」の看板が出ている。

### ←ウバユリ

分岐から東に向けて、林道が緩やかに登っ



ハグロソウ





ている。林道はやがて山道にかわる。路傍のツルリンドウが、伸ばしたツルに可愛い蕾を付けている。14:05 小管峠を通過。15:15 落合バス停着。

### 56年前、妻と二人で歩いた道

この道は、56年前初めて歩いた。その年の12月に結婚式を控えた秋、妻と二人で出かけた山歩きだった。登山の経験は私の方が上だったと思うが、妻が意外と健脚だったことを憶えている。

道も、その時はもっと険阻だったと思うが、この間コースも変わり、整備もされたのだろう。両膝に故障をかかえ、脊柱管狭窄症に悩む老体でも無事に歩き通すことができた。

←白花のイワタバコ

## 続・続・二上山に咲く花々 34

### クサギ (臭木) シソ科クサギ属

独特の悪臭がするので、この名がつけられていますが、昆虫少年たちは、そんなことはお構いなし、この花に集まるアゲハチョウの仲間を捕えようと、この樹の下で待ち構えたものです。懐かしい植物です。

#### 花から突き出る雄しべと雌しべ

右の写真のように開いた白い花から大きく飛び出しているのが4本の雄しべと1本の雌しべ。写真をよく見てください。先端に濃紫色の葯(やく=花粉が入っている袋)を付けているのが雄しべ。



#### 近親交配さける巧みな仕組み

この雄しべがまず成熟し、花粉を出しき

った後に雌しべが成熟して他花(株)からの花粉を迎えます。これを雄蕊先熟(ゆうずいせんじゅく)と言い、近親交配を避ける仕組みなのです。進化とはすごいですね。身近な花ではキキョウが雄蕊先熟花です。逆に雌しべが先熟するものは雌蕊先熟花(しずいせんじゅくか)と呼ばれ、オオバコはその一例です。



#### よく目立つクサギの実

10月頃、クサギも実を付けます(写真左)。がくが真っ赤に染まって星形にひろがり、実は美しい藍色に輝きます。小鳥に食べてもらうためだとされていますが、小鳥も甘い順に食べていくので、クサギの実は糖度が低いのか、よく残っていて人の目を引きま

今年のサークル発表交流会(健生会友の会) 10月18日(火)~20日(木) さざんかホールにて。

映画「わが青春 つきるとも」--伊藤千代子の生涯-- をぜひご鑑賞ください。一般 1500 円

戦争と無権利の時代、反戦と主権在民を掲げ、闘いにたおれた若き女性の真実の姿。 学生 800 円

- 奈良県産業会館(大和高田市幸町 2-33) 9月17日 上映時間 13:30 から。
- 奈良市ならまちセンター 9月10日 上映時間 ①10:00 から ②14:00 から
- やまと郡山城ホール 9月22日 上映時間 ①10:00 から ②14:00 から
- 生駒市南コミュニティセンター 10月8日 上映時間 14:00 から